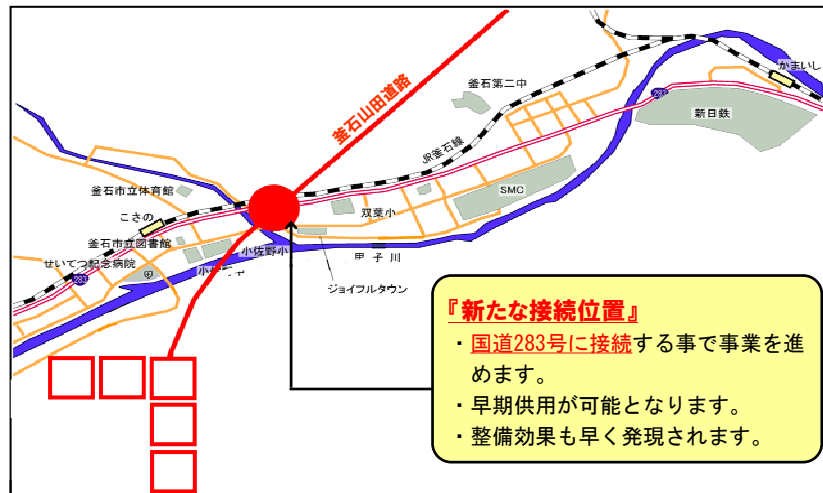


新たなインターチェンジを国道283号に接続する事で事業を進めます

～釜石山田道路の新たなインターチェンジ接続計画～



6月13日に開催された「釜石山田道路第4回懇話会」において、釜石山田道路の新たなインターチェンジに関する今後の進め方が提言されました。

提言1 住民の皆さんとの対話の継続

提言2 調査・設計に基づく具体的な説明の実施

(※提言の詳細は裏面をご参照ください)

この提言を踏まえ、釜石山田道路の早期開通に向けて、国道283号に接続する新たなインターチェンジについて、計画を一步前進し、調査・設計検討を進めて参ります。

今後も、地域の皆さんと対話を継続しながら進めて参りますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今後の進め方

- 具体的な設計を進めるため測量、地質調査などの現地調査を始めます。
【測量・地質調査説明会の開催について】
日時:平成20年7月8日(火)18:30から 場所:小佐野コミュニティ会館(小佐野町3-4-25)
- インターチェンジの構造、影響範囲を明確にするための設計検討を行います。
- 設計検討がまとまり次第、地域の皆様に説明を行います。
- 地域支援の窓口「かまやま相談室」を常設します。
- 必要に応じて「かまやま相談室 現地相談会」の開催も行います。

発表記者会:釜石記者クラブ

＜問い合わせ先＞ 国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所

副 所 長 文屋 泰雄 (内線 204)

調査課長 田中 誠 柳 (内線 451)

TEL:0193-71-1716(調査課直通) FAX:0193-63-0887

URL: <http://www.thr.mlit.go.jp/sanriku/>

提 言　－釜石山田道路の国道 283 号への新たな接続について－

釜石山田道路は、釜石市内の交通混雑の解消、隘路解消はもとより、高規格幹線道路として地域間交流の拡大、地域経済の発展・活性化、安全確実な交通の確保等の効果が期待されており、早期開通が求められています。

そのため、早期供用による効果の発現が期待され、釜石市街地へのアクセス性に優れる国道 283 号へのインターチェンジの新設が必要と考えられます。

しかし、釜石市の発展のためとはいえ市街地へのインターチェンジ設置となるため、近隣住民の方々が背負う犠牲は多大なものであり、現在も不安な日々を過ごされている事と考えます。

よって、事業者は、不安をかかえている地域の皆様の気持ちを理解した真摯な対応を行う事とし、地域の方々と対話を継続する事をお願いします。

以上を踏まえ、今後の事業を進めるにあたり、以下のように提言します。

提言1 住民との対話の継続

住民の方々の気持ちを理解した対応を行うため、国、県、市が連携し、これまで以上に対話を続け、住民の方々の意見に耳を傾ける事が重要です。

また、広く市民へ情報公開し、市民の理解と関心を得ることも重要です。

提言2 調査・設計に基づく具体的な説明の実施

住民の意見の多くは、「具体的な案がみえない」、「いつまでも事業が進展しない」というものです。これらの住民の方々との対話を進めていくためには、具体的な説明が必要です。

そのために、調査や設計検討などを実施する必要があります。

また、地域の方々の意見を聞き、相談しながら計画を進める事も重要です。